

【作戦1】～生徒の成長を促すために必要な、活用できる地域資源と連携した取組～		【作戦2】～研修機会の確保～
<p>【作業学習】 地域と連携した製品作り（1作業班、1事業所との連携）</p> <p>＜農耕班＞ 地域の伝統野菜①にんにく（八木、沼山）、②山内にんじん、③沼山だいこん、原木しいたけ、山菜の栽培、<u>綿花、小豆、黒豆</u> 食品加工（沼山だいこん、山内いものこ、雪の下にんじん、キウイジャム、乾燥しいたけ、<u>缶詰</u>）</p> <p>＜縫製班＞ さをり織り（帽子、A4トートバック等）、<u>座布団の受注</u> 藍染め、藍染め新技法（板染め、グラデーション等）</p> <p>＜木工班＞ りんごを入れる木箱、スマホスタンド、カフェトレイ、多目的木箱等</p> <p>＜窯業班＞ かまくら皿（大小）、かまくら箸置き、角皿（大小）、マグカップ リンゴ箸置き、ヘアゴム、<u>ぐい呑み</u>、<u>箸置き</u>の受注等</p> <p>＜リサイクル班＞ 牛乳パックを使った製品作り「油吸いポイット」</p> <p>＜ビルクリーニング班＞ 校外内の清掃</p> <p>※各作業班・・・作業学習製品の納品、運営管理（年7回計画） ※連携先の開拓</p>	<p>班ごとの連携事業所＜技術指導、納品等＞</p> <p>・菅与、横手市園芸振興拠点センター、バル・パサポルテ、紅玉、豊前、伊藤漬物本舗、山内地域の方々 ＜企業連携型作業学習＞・・・藤井果樹園（15回） ・<u>缶詰工場、横手市平鹿の農業関係の方々</u></p> <p>・浅舞絞りクラブ ・<u>雄物川図書館</u></p> <p>・ウッディさんない、細川農園</p> <p>・藤井果樹園、Ltd Edition ・かねきねこ（金喜書店）</p> <p>・<u>清掃受託（かまくら館、I R横手駅）</u></p> <p>・にこにこ直売所、かまくら館、金喜書店 ・作業班を超えた生徒の活動</p>	<p>生徒、教師とも継続した作業班に所属。研修機会の設定。</p> <p>＜生徒＞ ・教育的ニーズに応じて2年間、又は、3年間同じ作業班で学ぶ。2年目からは、後輩の見本となり、後輩に伝える、見学者に作業内容を説明するなどのねらいも設定する。 ・作業内容、製品のクオリティ維持のため、各作業班で外部の方を講師とした研修を実施。</p> <p>＜教師＞ ・作業班主担当教員の固定、校外内の研修への参加（教師の専門性の向上）。 ・夏季休業中に他の作業班の作業内容や製品について研修する機会の設定。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>高等部縫製班 藍染め研修会（5回） 作業学習製品意見交換会（全校職員対象：7/28） <u>ビルクリーニング指導（生徒、職員：技能競技会に向けて）</u> 高等部木工班 木工技術の指導（1回）</p> </div>

【作戦3】～地域社会を学習の場とした学習活動の展開～		
<p>【職業】 地域にある事業所等を知る＜働くことの意義＞（行って・見て・体験して・考える）</p> <p>＜1年生＞ 地域の一般・福祉事業所等の職場見学、体験の充実（地域の福祉事業所6か所を見学・体験）</p> <p>＜2年生＞ 地域の一般・福祉事業所、関係機関等の見学、体験の充実（地域の福祉事業所2か所を見学）</p> <p>＜3年生＞ 自分の進路実現について必要なことを考えるための地域の事業所での実習（地域の事業所への就労・福祉的就労）</p>	<p>【家庭】 地域での生活と暮らしく衣食住の生活＞</p> <p>＜1年生＞ 地域で生活するためのルール、公共施設の利用（地域での買い物等）</p> <p>＜2年生＞ 地域の人材から学ぼう（発酵文化、味噌作り、調理実習）</p> <p>＜3年生＞ 地元食材の学習及び地元食材を活用した弁当作り、地域での生活（実践的な買い物学習等による消費活動）</p> <p>【生活単元学習】 地域を題材とした学習</p> <p>＜1年生＞ 地域の商店での買い物学習、増田の蔵、発酵文化の学習</p> <p>＜2年生＞ 発酵文化の学習</p> <p>＜3年生＞ 社会福祉協議会、地域のサークル（クリーンアップ等）</p>	<p>【総合的な探究の時間】 社会体験活動と交流</p> <p>横手が舞台 ～地域理解・発信・貢献～</p> <p>・観光おもてなし（横手市観光協会、市役所、横手駅と連携）</p> <p>・横手城南高校とのよさこい交流（対面交流、VTR交流等）</p> <p>・県南特別支援学校との交流（3年生）</p> <p>・横燿雪まつり（かまくら職人との交流、他学部との交流）</p>

今後の作業学習の展望 3か年計画		
＜ 1年目 ＞ R3	＜ 2年目 ＞ R4	＜ 3年目 ＞ R5
＜農耕班＞ 「山内芋の子の芽だし」「地域の伝統野菜（にんにく等）の増産」「学校の敷地環境を利用した山菜、原木しいたけ栽培、管理」「冬の作業種の開発、開拓」	→ 「地域の伝統野菜の加工、納品」 → 「山菜等の収穫」 → 「冬の作業量の確保（連携先の拡充）」	→ 「安定した、地域の伝統野菜の収穫量確保、加工、納品」
＜縫製班＞ 「製品開発を外部機関に協力依頼」「藍染め、絞り技術の維持」（作業学習体制整備）	→ 「ミシン技術の向上（基礎的技術、技法の習得）」 → 「安定した製品作りと技術の習得（染め・絞り）」	→ 「製品開発、製作に外部機関の協力を依頼（受注、コラボ等）」 → 「アイデア、アドバイスを生かした製品開発と安定した生産」
＜木工班＞ 「りんごを入れる木箱の安定した製作、納品」	→ 「製品の開発、製造、技術の習得」 → 「個に合った作業工程や内容の工夫」	→ 「地域の店や事業所等への納品」 → 「作業環境のユニバーサルデザイン化」
＜窯業班＞ 「地域の産物を素材にした製品の開発」「横手・平鹿のりんご灰を使用した釉薬を使つての製品開発」	→ 「色・デザインを揃えてセット販売」 → 「地域の店で使用していただく」（受注、共同開発）	→ 「地域の店へ定期的な納品」 → 「新製品開発のための製品モニターの依頼」
＜リサイクル班＞ 「あぶら吸いポイットの材料の改良」	→ 「新商品開発・製品改良」 → 「マーケティングデータの収集と活用」	→ 「お客様の声を生かした商品開発と製品の質の向上」（アンケートの実施） → 「売れているところに集中配置など販売方法を工夫」
＜ビルクリーニング班＞	→ 「ビルクリーニングの基礎的な知識、技能の向上」	→ 「連携先の固定化」「定期的な校外活動」
＜成果＞ ・外部との製品の受注、共同開発→納品 ・安全で正確な、生徒の実態に合った教具の開発 ・事業所、他班とのコラボ、そのための基盤となる素材の生産（農耕、木工、縫製班）		
＜課題＞ ・班同士の製品開発、共同製作の実現（セット販売等） ・継続した外部機関との連携 ・どの事業所と、どのような連携をしたいのか、具体的なニーズの把握		